

生分解性マルチの効果確認試験

JA中札内村

(有)北星農場



①6月12日撮影 慣行品



②6月12日撮影 試験品



③6月12日撮影 試験品



④6月12日撮影 試験品



⑤9月12日撮影 試験品すき込み後

試験目的

生分解性マルチ長尺品(600m)の効果確認

試験作物
及び品種

南瓜

試験資材
及び数量(規格)

コーンマルチⅡ(0.015mm×95cm×600m) 黒 無孔 2本

慣行資材

コーンマルチⅡ(0.015mm×95cm×400m) 黒 無孔
コーンマルチⅡ(0.015mm×135cm×400m) 黒 無孔

栽培方法

播種日

6月10日

収穫日

8月10日

【栽植密度】

株間：60cm

資材使用期間

5月1日～8月10日

試験区面積

0.40ha

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

試験品は慣行品と比較して200m長尺なので、マルチの交換作業が少なくなったので、展張作業は楽になった。

少し重いのが、95cm幅であれば600m巻でも問題なく使用できる。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と変わらない。

また、試験品はセンターマークが35cmおきに付いていたが、株間60cmで栽培しているため、センターマークの位置は慣行品の20・30cmおきの方が孔あけ作業がしやすいことが分かった。(※センターマークは20・30cmもしくは35cmピッチいずれかで希望に合わせて選択可能となっております。)

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：マルチの交換作業が少なくなった分、展張作業は省力化に繋がった。

【問題点】：慣行品より重いため、運びずらかった。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

マルチの強度・分解性については慣行品と変わらず使用することができた。

モニター感想

南瓜だけで38haの面積があるため、限られた日数で播種作業をこなすには、作業の効率化が求められる。試験品はマルチの交換作業が少なくなり、確実に作業省力化に繋がったと思う。

今後も継続して長尺品を使用していきたい。

JA担当者の感想(生産資材課 松下 氏)

試験品は、慣行品よりも重いのでマルチャーへの設置や展張作業が問題なく行えるか心配であったが、慣行品と遜色なく使用することができてよかった。作業効率化が期待できるので、他の生産者にも紹介していきたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

展張作業が効率化された。今後も使用したい。

将来希望する資材について

コーンマルチⅡでグリーンがあれば良い。地温確保も期待できる色があればより魅力的である。

1 梨地フィルム

2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 遮光ネット

6 防草シート

7 畝農資材

8 ICT機器

9 その他